

- 主催：HOKKAIDO PHOTO FESTA 実行委員会
- 共催：株式会社アイワート、Case Publishing、株式会社ラボ
- 協賛：北海道コカ・コーラボトリング株式会社、シストラソコカ、カラーサイエンスラボ
- 後援：北海道、札幌市、(公財)北海道文化財団
- 問い合わせ先

代表：HOKKAIDO PHOTO FESTA 実行委員会 代表 大橋 英児

Web サイト：www.hokkaidophotofesta.com

mail: hpf.sapporo@gmail.com



HOKKAIDO PHOTO FESTA 実行委員会
代表 大橋 英児

それぞれの場所からご参加いただければ幸いです。

ことにいたしました。
引き続きたいという思いから、HOKKAIDO PHOTO FESTA 2021を開催する

様々な制約や制限がある状況の中でも写真に関わる人たちが集う場であ

制作することについて目を向けた企画をご用意しています。

今回のHPFでは「地方に暮らしながら制作すること、地方をテーマに

に尽力いただけてきました。

たいという思いもあり、エディターの大西洋さんをはじめたくさんの方
フォトエスタのようなイベントを自身の拠点でもある北海道で開催し
化の向上を目指し、有志が集まり実現しました。各地で開催されている
そのような中、HOKKAIDO PHOTO FESTAは2018年より北海道の写真文
で感じてきました。

の、制作面や活動の場について様々な壁があることを自身の経験も含め

北海道だけでなく各地の地方を拠点に活動している作家は多くいるもの
地からでも参加いただけるような環境を整えて企画しています。

す場所を世界の中心と捉えて、過去二回とは形態を変えながら様々な土
昨年は残念ながら開催を見送りましたが、今回はそれぞれが活動し暮ら
オンライン企画を軸としたイベントを開催をいたします。

2021年のHOKKAIDO PHOTO FESTAは「こも世界の中心」をテーマに、

HOKKAIDO PHOTO FESTA 2021「こも世界の中心」

HOKKAIDO PHOTO FESTA 2021

2021.10.18 MON - 24 SUN

こも世界の中心

E 2019 ポートフォリオレビューグランプリ Kana Kuwasako

L レクチャー

P ポートフォリオレビュー

T 地方作家による対談イベント

I 作家インタビュー

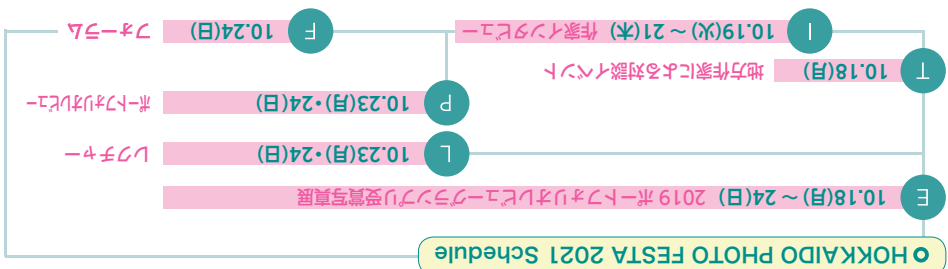
F フォーラム Yoshikuni Hirano



© Kana Kuwasako



© Yoshikuni Hirano



〒104-0032 東京都中央区八丁堀2丁目3-2 小林ビル本館3階
TEL 03-5542-6134 FAX 03-5542-6129
https://www.cs-labo.co.jp

株式会社 カラーサイエンスラボ COLOR SCIENCE LABO

〒060-0063 札幌市中央区南3条西3丁目1号
3階
TEL/FAX 011-222-9311



これからのチョイス! 100% リサイクルペット



リサイクルしてね
100%リサイクルペット

コカ・コーラといそはす天然水は
100%リサイクルペットを使用しています。

リサイクルペット素材を100%使用したペットボトルを使用しています(一部製品を除く)
詳しくはこちら: <https://www.cocacola.co.jp/sustainability>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(コカ・コーラ指定会社) <https://www.hokkaido.ccbc.co.jp>





HOKKAIDO PHOTO FESTA 2019 ポートフォリオレビューグランプリ受賞・写真集出版記念

桑迫伽奈写真展「不自然な自然」

HOKKAIDO PHOTO FESTA 2019 ポートフォリオレビューグランプリを受賞した桑迫伽奈のグランプリ受賞・写真集出版記念写真展を開催いたします。

北海道・札幌の三方を山に囲まれた土地で生まれ育った桑迫は山や森林が身近な存在で、当たり前のように「自然」を被写体にしてきました。この作品は一般的に「自然」と呼ばれる森林を被写体に、「自然とは何か」について問いかけてきます。

2019年のグランプリ受賞以降、桑迫は地元北海道だけでなく国内の様々な土地で撮影し、その中で植生の違いや森林を取り巻く環境の違いを感じてきました。肉眼で見る景色とは違って一見抽象的にも見えるイメージの中には、その土地やその日の空の色が映り込み、その土地特有の草木のシルエットも見え隠れしています。

グランプリの副賞として Case Publishing より出版された写真集も会場にて展示・販売いたします。

Profile

桑迫 伽奈

Kana Kuwasako

2013年 北海道教育大学岩見沢校美術コース卒業。

2019年「ヤング・ポートフォリオ」(清里フォトアートミュージアム/山梨)入賞、作品収蔵。HOKKAIDO PHOTO FESTA 2019 ポートフォリオレビューグランプリ。2020年個展「after the rain」(Gallery 創/札幌)、「[2019年度ヤング・ポートフォリオ展」(清里フォトアートミュージアム/山梨)、「#みまのめ vol.6」(三岸好太郎美術館/札幌)。2021年「夜になりすます」(PHOTO GALLERY FLOW NAGOYA/名古屋)。美術手帖 2021年2月号「2020年代を切り開くニューカマー・アーティスト100」掲載。



レクチャー① 2021年10月23日(土) [オンライン開催] 「コレクターから見た現代美術と写真」

ゲスト：大西 洋 (Case Publishing 代表)

時間：20:00～22:00

開催方法：zoomにてオンライン配信

ここ数年世界的に現代美術への関心が高まっており、それはアートフェアの盛況ぶりをみても明らかです。Case Publishing 代表として長年写真集の出版に携わり、コレクターでもある大西洋が現代美術と写真が置かれている“今”についてお話します。

レクチャー② 2021年10月24日(日) [オンライン開催] 「都市から離れて～地方を拠点にした写真家たち」

ゲスト：タカザワ ケンジ (写真評論家)

時間：20:00～22:00

開催方法：zoomにてオンライン配信

東京、ニューヨーク、パリなど世界的な大都市は数多くの写真作品を生み出してきた写真都市でもありました。しかし、それらの大都市から離れて作品をつくりつづけた (いまでもつくりつづける) 写真作家たちの作品を取り上げ、地方発の写真作品の可能性を探ります。

参加申込方法

申込先：peatix ▶▶ <https://hokkaidophotofesta.peatix.com>

参加費：各回 1,200 円、レクチャー①②セット券 2,200 円



Guest Profile

大西 洋 Hiroshi Onishi

株式会社 shashasha、株式会社 case 代表取締役。1966年生まれ。金融機関勤務、投資会社設立を経て 2008年に美術情報誌 Article を創刊。2012年より日本とアジアの写真集にフォーカスしたオンライン書店 shashasha をスタート。2015年には、case publishing を設立。「表現としての写真集」を考え、新たに本が与える体験を伝えるべく、積極的に活動をしている。



Guest Profile

タカザワ ケンジ

1968年群馬県生まれ。早稲田大学第一文学部卒。写真評論、写真家インタビューを雑誌に寄稿。写真集の編集、写真展など、写真のアウトプットに対する実践も行っている。解説を寄稿した写真集に渡辺兼人『既視の街』(AG+ Gallery、東京総合写真専門学校出版局)、石田省三郎『Radiation Buscape』(IG Photo Gallery)、福島あつし『ぼくは独り暮らしの老人の家に弁当を運ぶ』(青幻舎) ほか。著書に『挑発する写真史』(金村修との共著、平凡社)。ヴァル・ウィリアムズ著『Study of PHOTO 名作が生まれるとき』(ビー・エヌ・エヌ新社) 日本版監修。東京造形大学、東京総合写真専門学校ほかで非常勤講師を務める。IG Photo Gallery ディレクター。



ポートフォリオレビュー [オンライン開催]

2021年10月23日(土) レビュー①大西 洋 (Case Publishing 代表)

2021年10月24日(日) レビュー②タカザワ ケンジ (写真評論家)

時間：参加者に直接ご連絡

開催形態：オンライン会議システム zoomにて開催

参加費：5,500 円 (2名レビュー)

募集人数：10名

申込先：peatix ▶▶ <https://hokkaidophotofesta.peatix.com>

※申込者に限り、他の参加者のレビュー見学ができません。

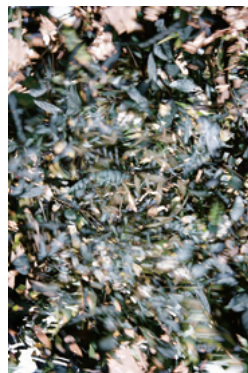
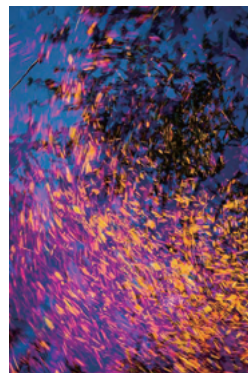


2021年10月18日(月)～24日(日) 開催

会場：眺望ギャラリーテラス計画

札幌市中央区北2条西4丁目1 赤れんがテラス 5F (3Fより専用EVに乗り換え)

時間：11:00～19:00 ※20日(水)のみ16:30まで 会期中無休



Information

○写真集販売

会場にて Case Publishing より出版の写真集を販売

○HPF2019 グランプリ受賞者インタビュー

オンライン配信

出演：桑迫 伽奈 (HPF2019 グランプリ)、

タカザワ ケンジ (写真評論家)

日時：2021年10月22日(金) 20時

YouTube プレミア公開 (アーカイブあり)



地方作家による対談イベント

2021年10月18日(月) [オンライン開催]

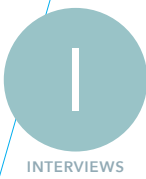
「ここも世界の中心」

聞き手：大橋 英児 (HOKKAIDO PHOTO FESTA 代表)

ゲスト：岩波 友紀 (福島)、上原 沙也加 (沖縄)、牟禮 朱美 (鳥取)

時間：20時より YouTube プレミア公開 (アーカイブあり)

北海道以外の地方都市で活動する作家がどのようなテーマで作品を作っているのか、またどのような思いで活動しているのかについて各作家の作品の紹介も交えながら対談を行います。



北海道を写す作家ヘインタビュー

2021年10月19日(火)～21日(木) [オンライン開催]

「北を見つめる作家たち」

ゲスト：web サイトにて近日公開

時間：各日 20時より YouTube プレミア公開 (アーカイブあり)

北海道で暮らしながら制作する作家、他の土地で暮らしながら北海道を被写体にした作品を作る作家、ジャンルも境遇も様々な作家が写真を通して何を見ているのかインタビューを通じて探っていきます。



フォーラム 2021年10月24日(日) 開催

「平野禎邦の見た北洋 1968-1982」

会場：かでる2.7 920会議室 札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル

時間：14:00～16:00

作家：平野 禎邦

ゲスト：中村 絵美 (長万部写真道場研究所)

参加費：1,000 円 (申込不要、当日支払)

定員：20名限定 (コロナ拡散対策)

※新型コロナ感染状況によっては中止する場合があります。最新の情報を web サイトでご確認ください。

平野禎邦はかつての北洋漁業の漁船に乗り、14年間にわたり北洋を撮り続け写真集「北洋-俺たちの海」を1982年に上梓しました。この時代の「北洋」は、あらゆる海産資源を取り放題の時代から漁業権がものをいう時代への変革期に有り、丁度少し遅れて起こったバブル崩壊の日本と重なります。命さえ削るほど厳しい冬の北洋を、延べ百隻あまりの漁船に乗って撮り続けた平野禎邦の情熱はどこから来たものなのか。そんな平野の人物像とこの時代について皆さんと話したいと思います。



Profile

平野 禎邦 Yoshikuni Hirano

1944年朝鮮咸鏡北道生れ。

1983年写真集「北洋」(小学館)出版。写真作品「エトロフ沖 200 カイリ」で通産大臣賞受賞。1973年個展「千島の手」(銀座ニコンサロン)、1986年「釧路湿原」開催。マクロ漁、北洋のカニ漁やタラ漁、釧路湿原の作品を雑誌「世界」に発表。1992年10月29日胃癌のため逝去。同年11月、根室市教育委員貢献賞受賞。